

# 第12回群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会（議事概要）

## 概 要

- 1 日 時：令和3年5月31日（月） 18:30 ～ 19:30
- 2 場 所：県庁29階 第一特別会議室
- 3 出席者：群馬県新型コロナウイルス感染症対策協議会委員 17名、事務局 8名
- 4 要 旨：今後の感染状況に応じた医療提供体制整備について、協議した。

## 議 事

### 1 開 会

### 2 須藤座長あいさつ（要旨）

コロナ対策の最大のミッションは、ワクチン接種である。一つ気がかりな点は、県内各郡市によって予約や接種体制に差があるということ。人口が少ないところは、接種が進んでいるようだ。人口が多いところは、予約システムのIT化を進めているため、今後一気に接種が進む可能性があると思っている。県には指導をお願いしたい。

それから、接種が進むとワクチン使用期限の問題が出てくる。製造してから6ヶ月が使用期限となっている。輸入した時期や配布時期等で期限の差があるようだが、無駄にならないようにしなくてはならない。基幹施設から基幹施設への輸送をするというような新たな課題が出てくると思っている。本日も、忌憚のない御意見を伺いたい。

### 3 議 事

#### （1）新型コロナウイルス感染症の発生状況について

事務局 （資料により説明）

#### （2）今後の感染状況に応じた医療提供体制の整備について

事務局 （資料により説明）

委 員 一つ調整していただきたいことがある。個々の病院の入院患者数等の状況について、日々変わる情報をタイムリーにいただきたい。宿泊療養施設としても病院の逼迫状況を知った上で調整をしていきたい。患者さんを紹介する際にも、参考にできる。

事務局 そうしていただけると助かる。

委 員 認知症の取り扱いが難しいところがあるかと思う。クラスターの原

因にもなると思うがいかがか。

事務局 認知症の程度にもよる。家族の支えが必要な認知症は入院が必要だと思う。保健所の聞き取りにも注意していただきたい。また、歩ける認知症が一番危ない。宿泊施設での療養は難しいと思う。精神科病院にもかなり協力していただいているので、そういった機関との連携が必要と考える。

委員 認知症の場合は、調整センターで療養場所を考えていただくのがよいか。

事務局 環境が変わると症状が悪化するのが認知症である。一般のコロナ受入病院から精神疾患専門のコロナ受入病院に移っていただいている例もある。

#### 4 報告事項

##### (1) 変異株について

委員 (資料により説明)

委員 当院でもデルタ株(インド変異株)のスクリーニングができるようになってきているが、どのくらいの範囲で検査をすべきか。全例ですべきか。

事務局 できるかぎりお願いしたい。

委員 デルタ株(インド変異株)が7件出たことに驚いている。感染経路は。

事務局 非公表となっている。

委員 補足であるが、県内1例目は、検疫通過時は陰性であった。

##### (2) 県営東毛ワクチン接種センターの設置について

事務局 (資料により説明)

委員 先日も、知事との懇談会で現場の先生方の意見を伺ったところであるが、その他に何かあるか。

委員 看護師による問診もかなり詳しく書かれていて、いいシステムだと思う。また、30分の経過観察が必要な方は「赤いファイル」、注意が

必要な方は「黄色いファイル」、それ以外は「透明なファイル」というような、わかりやすい工夫がされている。

委員 5月27日にも要望書を知事に出したが、市長会としてワクチン接種センターの更なる充実をお願いしたい。

委員 5月26日にセンターの手伝いに行った。本来は、経過観察担当であったが安定していたため、予診担当として医師2名体制で行った。体制について確認したい。

事務局 5月25日は予診担当医師が1名であったためボトルネックとなった。26日は先生にも協力していただいたため、流れがよくなった。総括的立場の先生にも予診に入っていただくことを念頭に配置を考えたい。

委員 うまく振り分けていただくと、流れがよくなると思う。

委員 東毛に設置した理由は。また、県央の設置予定は。

事務局 東毛に設置した理由は医療人材が少ないため。また、各市町村の計画が遅れがちであった。高齢者への接種終了後は、一般の方を対象に継続予定である。

委員 若い人を対象にすると力を発揮すると思う。11月まで続けるのがミッション。各団体の先生にも協力いただきたい。  
安中の集団接種で気づいたことであるが、総括的に見るのが重要。周りが見えていなかったためブースがストップしてしまった例もあった。また、注射器でのワクチンの吸い取り方も教える必要があると感じた。

委員 看護協会も接種センターに行かせていただいた。流れはスムーズだったと思うが、やはり全体を見る人が必要。これから先の懸念として、暑さ対策や動線に気を配る必要がある。

委員 臨床検査技師の協力も前向きに検討している。

委員 県央接種センターの設置日程・接種対象を教えてください。

事務局 検討中である。

委員 接種センター統括の職種は。

事務局 全体統括は事務職員である。

- 委員 接種センターで従事する職員はワクチンを接種すべき。統括も健康福祉部職員も学校の教職員も。
- 委員 ワクチン期限切れの問題もあるので、その解決方法は対象を広げる以外にないと思う。学校医に関して、正確な情報提供を教育委員会にも申入れした。
- 委員 太田ではかかりつけ医がいない高齢者の4割を接種センターに回した。県央接種センターでも同じようにするのが手ではないかと思う。
- 委員 6月13日までまん延防止等重点措置期間となっている。この間に感染者数を抑え込んでいきたい。ワクチン接種センターでは、関係の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。県央接種センターでも御協力をお願いしたい。
- 委員 6月3日の知事記者会見でも、県央接種センターの詳細をある程度示せると思う。6月4日にも協議会がある。県央接種センターでは、知事が総理等を訪ねて接種対象を柔軟に決定させていただきたいと要望したところ。動きのよい方から打つのもポイントとなる。ワクチンを1日も早く打ってこの状況を打開していきたい。
- 委員 若者は、職場で打つべき。変に予約をすると時間がかかる。職場に医師が出向いて打つのが早く進める方法だと思う。
- 委員 産業医に協力いただいて企業で打つのが早く進める方法だと思う。検討をお願いしたい。

## 5 閉 会

以 上